

## 本市のデータ

(1)面積 638.64km<sup>2</sup> (平19.2.28)

(2)人口 (人)

35国調	12国調	17国調	平23.9.30住基
25,163	11,842	10,748	9,564
65歳以上人口比率(17国調)			33.4%

(3)世帯数

35国調	12国調	17国調	平23.9.30住基
	4,543	4,342	

(4)沿革

平17.9.1合併(町制施行) 北檜山町 瀬棚町 大成町
---------------------------------

(5)産業構造

区分	就業人口 17国調
1次	1,250人 24.7%
2次	1,060人 21.0%
3次	2,745人 54.3%
計	5,055人



## 本町の概要

せたな町は、北海道の南西部、日本海に面した檜山支庁管内の北部に位置しています。せたな町の北は島牧村に、東は今金町、南は八雲町に、西は日本海をはさんで奥尻島をのぞみます。

地勢は北部と南部が山地となっており、その中間を一級河川後志利別川が流れ、北部には道南の最高峰狩場山(1,520m)など1,000m級の山々が連なり、南部には遊楽部岳(1,276m)や白水岳(1,136m)などが連なっています。

北部の狩場山から海岸にかけては狩場茂津多道立自然公園に指定され、南部の海岸線の一部は檜山道立自然公園に指定されるなど、豊かな自然環境を有しています。



## 支援に向けての取り組み状況

### <対策の方針・目標>

せたな町は、合併する以前の旧北檜山町の頃より、自殺率が高い状況が続いている。このような状況を少しでも改善するため、平成18年度より保健所の協力も得ながら、自殺予防対策を推進している。「自殺率の減少や自殺者ゼロ」を目標に、「自殺やメンタルヘルスに対する正しい知識を持ち、必要な時には適切な対応がとれる」ことに重点を置いて、メンタルヘルスや自殺予防の普及啓発や身近な相談者として民生委員や健康づくり推進員が担い、相談支援の充実・強化など支援体制の整備を図っている。

## <具体的な取組み>

- ①せたな町オリジナル自殺予防ポスターと相談窓口カード作成・配布
  - H21年 自殺予防ポスター(公共施設や商店に配布し貼付)
  - H22年 メンタルヘルス相談窓口カード(公共施設のトイレ等に設置)
- ②一般町民向け健康教育
  - H18年 ころの健康づくり研修会「身近なころの病”うつ病”とは」
  - H20年 自殺予防事業「みんなで考えるころの健康づくり  
～うつ病や自殺のサインと対応のポイント～」
  - H21年 自殺予防事業「あなたを支えるころの病院のお話」
  - H22年 自殺予防事業「いまだから知りたいころの病院のお話」
- ③関係職向け健康教育
  - H18年 援助者向け研修会「うつ病患者への対応～サインの見分け方・対応の仕方～」
  - H19年 援助職向け研修会「住民のころに触れる相談対応」
  - H22年 人材育成事業「聴く・気づく・つなげる～ころの寄り添う相談対応のポイント」
- ④労働関係者の向けの事業
  - H19年のみ
  - 《健康教育》
    - 労働者向け研修会「働く人のストレス・・・あなたの心は元気ですか？」
    - 管理職向け研修会「職場におけるメンタルヘルス対策」
  - 《労働者の実態調査》
    - 労働者対象としたメンタルヘルスのアンケート調査
- ⑤ハイリスク者向け事業
  - H21年～実施
  - 健診の問診時に「心の健康度アンケート(うつスクリーニング)」を実施し、ハイリスク者には保健師が個別支援を行っている。
- ⑥依頼などによる健康教育
  - 平成18年～
  - 講演依頼があった際には、メンタルヘルスの内容を取り入れた講演を行うようにしてる。
  - 地域に出向いて健康教育をするときには、メンタルヘルスの内容もお話している。